

第二次苫小牧市中小企業振興計画骨子（案）

これからの中小企業振興は、第3期、第4期の本審議会で議論された内容を踏まえ、下記の3つの柱を掲げて取り組みます。

1 創業及び事業承継の推進

(1) ICTを活用できる事業者の創出

- ・市内でICT創業者を増やすとともに、他地域からの誘致を行います。
- ・ICTの知見を持つコーディネータの起業・育成支援を行います。
- ・市内ICT事業者を活用するための支援を行います。

(2) 事業者や創業者等が意見交換できる場の活用

- ・市内事業者等と連携し、事業者等が意見交換のできる場の活用を図ります。
- ・空きオフィスを活用できるよう、情報発信などを行います。

(3) 事業承継の必要性周知

- ・市内事業者へ事業承継に関する情報発信を図ります。
- ・商工会議所や市内金融機関等と連携し、事業承継が必要な事業者や経営者の掘り起こしを行います。

2 人材確保及び人材育成の強化

(1) 人材確保の支援

- 関係機関等と連携し、学生が市内企業を知る機会を創出し、若者の市内就職を促進します。
- 市内中小企業の魅力を発信することで企業の人材確保を支援します。
- 変化する採用マーケットに応じ、市内企業の人材確保を図ります。また、オンライン面接等、ICTを活用した採用活動を支援します。

(2) 人材育成の取組強化

- 中小企業は単独で人材育成プログラムを作ることが難しいため、人材育成計画の作成や人材育成の取組を支援します。
- 介護、建設業など、深刻な人手不足の産業に有効な資格取得等を支援し、人材育成を図ります。

(3) 職場環境づくりや定着の支援

- 多様な働き方や多様な人材を受け入れ、誰もが働きやすい職場環境づくりを支援し、職場定着を図ります。

3 事業継続のための経営基盤の強化・販路拡大の推進

(1) 販路拡大を行うための支援

- EC販売やサイト構築等のICT活用を推進します。
- 事業者の経営分析や事業戦略の必要性について明確にし、伴走型による支援を実施します。
- ビッグデータ活用の重要性を周知し、利用促進を図ります。

(2) 販路拡大を目指す事業者の交流促進

- 異業種コミュニティが広がる場にて、集積する事業展開を行います。
- 商談会等、販路が広がるきっかけを多く展開します。

(3) 経営基盤の強化に対する支援

- 本市の融資制度の周知を図り、中小企業の経営を支援します。
- 事業者が事業継続のために必要な手段に対し、支援策を展開します。
- 新サービスの構築や新製品の開発等に必要な支援策を展開します。